

2D テロップ作成マニュアル



日興通信株式会社 1.0版(2015/12)



TCLOP CANUAS 4

Telop Canvas 4 2D テロップ作成マニュアル

目次

1. テロップを作成しましょう	З
1.1. 図形を描く	3
1.2. オブジェクトに色をつける	4
1.2.1. 色の設定	4
1.2.2. キーの設定	5
1.2.3. エッジ・シャドウの設定	5
1.2.4. グラデーションの設定	6
1.3. 文字の入力	9
1.4. 静止画の配置	11
1.5. ルミナンス処理	12
1.6. 静止画の効果	12
1.7. オブジェクトの配置	13



1. テロップを作成しましょう

まずは、基本的なテロップを作成しましょう。今回は例として下記のテロップを作成していきます。



1.1. 図形を描く

まずは図形を描きましょう。オブジェクトツールバーから、図形オブジェクトを選択します。 今回は (角丸四角形)オブジェクトのボタンを選択します。

作画エリアをクリックし、画面上でドラッグすることで図形を描くことができます。





描いた図形の位置や大きさなどは、【プロパティ】ダイアログで、詳しく 設定することができます。

【角を丸くする】欄で、角をどれだけ丸くするかの半径を設定します。

1.2. オブジェクトに色をつける

描いたオブジェクトに色を設定します。色は【スタイル】ダイアログで設定することができます。



1.2.1. 色の設定

【スタイル】ダイアログ内【表面色】の欄にある小さい四角を、ダブルクリックすると、【色選択】ダイア ログが表示されます。

色を選択して【OK】ボタンをクリックすると、色が適用されます。

【色選択】ダイアログでは、PAGE1と PAGE2 のタブを切り替えて、色の設定方法を変更できます。





1.2.2.キーの設定

オブジェクトの透明度(以下:キー)を設定します。【スタイル】ダイアログの、 ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



Key のバーをスライドさせるか、数値 を打ち込んで透明度を設定します。

数値は、%単位での設定になっていま す。

左の図のように、70 にすると、70%の 透明度となります。



1.2.3. エッジ・シャドウの設定

オブジェクトに、エッジ・シャドウを追加します。【スタイル】ダイアログの、【追加】ボタンをクリックして、【エッジ】を選択します。



さらに外側にエッジを追加します。エッジとシャドウは合計で12個までつけることができます。先ほ どと同じ手順で、【追加】ボタンからエッジを選択します。

1.2.4. グラデーションの設定

作成したエッジにも、色やキーを設定することができます。今回は単色ではなく、グラデーションを 設定します。

【スタイル】ダイアログの左側の大きい四角をダブルクリックしてください。

【色詳細設定】ダイアログが表示されます。グラデーションは、このダイアログ上で設定を行います。



まずは、【指定点設定】の中の四角をダブルクリックします。表面色のときと同じ【色選択】ダイアロ グが表示されますので、色を設定し、【OK】をクリックします。



次に、ダイアログの上にある色のバー上でダブルクリックします。グラデーションの指定点が追加さ



作成した指定点を選択した状態で、再度下の四角をダブルクリックして色を設定します。 これで、指定点ごとに別の色が設定され、グラデーションを作成できます。



次に、グラデーションのパターンを変更しま す。ダイアログの左下にある、【グラデーション】 のアイコンをクリックすると、グラデーションの 向きが変更されます。



これで、グラデーションの設定は終了です。【色詳細設定】ダイアログの【OK】ボタンをクリックすると、作画エリアのオブジェクトに設定が反映されます。

他のエッジも同じように設定します。これで、オブジェクトの設定は終了です。



[shift]キーや[ctrl]キーを押しながらドラッグすると、縦横の数値が同じ正円を描くことができます。 先ほどと同じように、色やキー、エッジ・シャドウなどを設定して、オブジェクトの設定が終了します。



1.3. 文字の入力

次は文字を入力します。図形と同じようにオブジェクトツールバーの中から、A【文字】ボタンをクリックします。

作画エリア上でクリックし、文字を入力して[Enter]キーで確定します。



Telop Canvas 4 には株式会社モリサワのフォント3書体と、エヌアイシィ株式会社のフォント3書体、合わせて6書体のフォントをソフト内に付属しています。これらのフォントを使用することで、簡単に美しいテロップが作成できます。

文字を打ち込んだ後の細かい設定は、【プロパティ】ダイアログで行えます。

まずは、フォントの種類を設定します。

【フォント名】の横にある【参照】ボタンをクリックすると、【フォント】ダイアログが表示されます。使用したいフォントを選択して【OK】ボタンをクリックすると、選択したフォントが適用されます。



文字のサイズや、横幅縦幅、文字間なども【プロパティ】ダイアログで数値を打ち込むことで設定で きます。

次に、文字に色やキーを設定します。図形と同じ手順で、【スタイル】ダイアログから設定できます。 エッジや、シャドウなどの設定も同じく行うことができます。







これで文字の設定は一通り終了です。同じ手順で、他の文字も入力します。

1.4. 静止画の配置

写真や絵などの静止画を配置します。オブジェクトツールバーの中から 【ピクチャー】ボタンを クリックします。

下図のような静止画選択ダイアログが表示されます。読み込みたい画像ファイルを選択し【OK】を クリックします。

作画エリア上に静止画が配置されます。

🋃 ファイルを開く					×	
ファイルの場所(①)] 静止画		- +	🗈 💣 🎫 🔻		
e.	名前	^	更新日時	種類	サイズ	
最近表示した場所)) イラスト		2015/12/16 1	ファイルフォ		
	🌗 サッカー		2015/12/16 1	ファイル フォ		
	🍌 ニュース		2015/12/16 1	ファイル フォ		
デスクトップ]]」パーツ		2015/12/16 1	ファイル フォ		
	퉲 バラエティ		2015/12/16 1	ファイルフォ		
	📗 天気		2015/12/16 1	ファイル フォ		
ライブラリ	🔰 背景		2015/12/16 1	ファイル フォ		
	🍌 野球		2015/12/16 1	ファイル フォ	-	
	NIXUS 🗆 .jpg		2015/12/16 2	JPEG イメージ	25 KB	
コンピューター _IB2015懇親会送…						
	ファイル名(<u>N</u>):	NIXUS 🗇 jpg		-	開(())	
ネットワーク	ファイルの種類(工):	全ての対応フォーマット		-	キャンセル	
反 画像ファイルもブレビュー □ オブション						
NIE	JS 650 × 130	キーを抜く	そのまま 💌			



プロパラ	ティ			×	
共通 静止画1 静止画2					
ファイル	ルバス	そのまま	▼ 中心	-	
埋込 NIXUS口ゴ.jpg					
X座標		0 ÷	рх		
Y座標		0 ÷	рх		
幅	650	650 🕂	px h		
高さ	130	130 🕂	px L		
ルミナンス カット		0 +			
ルミナンス	ג אזא	0 ÷			
回転		0 ÷	度		

静止画の大きさや位置などは【プロパティ】ダイアログの 静止画 1 のタブで変更できます。

1.5. ルミナンス処理

配置した静止画に対してルミナンス処理(明度によってキーを抜く処理)が行えます。

【プロパティ】ダイアログの【ルミナンスカット】でカットレベルを設定できます。数値が大きいほど抜け具合が大きくなります。

今回は黒(R:0 G:0 B:0)の部分の色を抜きますので、数値「1」で下図のように、黒い部分の色が透明になります。



次に、【ルミナンスソフト】でカットした縁を滑らかにします。

数値が大きいほど、縁にアンチエイリアスが強くかかり、ピクセルのギザギザが目立たなくなります。

1.6. 静止画の効果

静止画にも、図形オブジェクトや文字オブジェクトと同じように色やエッジ・シャドウなどの装飾を 設定することができます。



色を設定するには、【プロパティ】ダイアログの【静 止画 2】タブを開きます。

【色変換】の欄のチェックをオンにすると、静止画 にも【スタイル】ダイアログで色設定が行えるように なります。【拡張色変換】もあわせてチェックをオン にすると、単色だけでなくグラデーションにも対応し ます。

オブジェクトと同じようにスタイルダイアログなど を使用して色やエッジ・シャドウの装飾設定が行え ます。

以上で静止画の設定が終了です。

1.7. オブジェクトの配置

作成した図形や文字を、簡単に整列することができます。まずは、作画エリア内のオブジェクトの位置を設定します。

移動させるオブジェクトを選択します。今回は2つのオブジェクトを一度に設定します。[shift]キーまたは[ctrl]キーを押しながらオブジェクトをクリックすると、複数のオブジェクトが選択できます。

次に、【全面配置】ツールバーの中から、【全面の中下寄せ】ボタンをクリックします。 選択していたオブジェクトが、セーフティエリア内の中下に寄せられます。



次に、オブジェクト同士の配置を設定します。今度は【オブジェクト配置】ツールバーの中から、【センター(上下)合わせ】ボタンをクリックします。選択したオブジェクトの上下の座標が一致し、オブジェクト同士が正確に配置されます。



他のオブジェクトも定位置に移動させ、オブジェクトの配置が終了します。





以上で基本的なテロップを作成する手順は終了です。